

こちら奈良市

# 東部出張所です

第67号

令和5年3月1日発行

編集・発行  
奈良市東部出張所  
奈良市大柳生町4735  
TEL 93-0001  
FAX 93-0061

〜未来のために今できること〜

こんにちは、東部出張所 所長の野口です。「新型コロナウイルス」の第8波も少し落ち着いてきたところですが、今月は気分を変えて、東大寺「修二会」についてお話しさせていただきます。

1270年以上一度も休むことなく続く伝統行事で、寒い真冬の夜に、大松明を持った童子(どうじ)が観客の頭上に火の粉を散らしながら舞台を回ります。二月堂の本尊十一面観音に、東大寺の僧侶が人々にかわって罪を懺悔して国家の安泰と万民の豊楽を祈る法要です。

また二月堂の名もこのこと由来しています。行中の3月12日深夜(13日の午前2時)には、「お水取り」といって、若狭井(わかさい)という井戸から観音さまにお供えする「お香水(おこうずい)」を汲み上げる儀式が行われます。また、この行を勤める練行衆(れんぎょうしゅう)の道明かりとして、毎晩19時(12日は19時30分・14日は18時30分)に行なわれる「お松明」は、長さ約7mにもなる大松明を童子がかつぎ、練行衆はその松明の火を道あかりとして、二月堂のお堂へ入っていきます。毎夜、大きな松明(たいまつ)に火がともされ、参集した人々をわかれます。このため「修二会」は「お水取り」・「お松明」とも呼ばれるようになりました。

お松明は、3月1日から14日まで毎日上堂されます。このお水取りが終わると、奈良に春が訪れるといわれるほど古くから奈良の人々に親しまれる行事です。

今年も昨年引き続き、お松明拝観も一部制限されておりますが、この伝統行事を地域の皆さまにも身近に感じていただけますよう、ご案内させていただきました。

引き続き、地域の皆さまが健康で楽しい家庭生活が送れますよう、「新型コロナウイルス」感染防止に十分ご注意くださいますようお願いいたします。

## 東部の手作りこんにやく

こんにちは。振興係の沼田です。

奈良市東部にうまいもんあり。皆さまの生活にも馴染み深い(と思われる)、手作りこんにやくですが、食感がぷるぷるで、味染みも良くておいしいですね。

写真のこんにやくは、都祁の直売所「老婆の休日」で買った『つげまろこんにやく』です。こちらのこんにやくは、添加物なし、凝固剤として北海道のホタテ貝を使用し、全て手練りでつくられているそうです。

直売所のお母さんによると、刺身でも食べられるとのこと。日本酒のアテにいただきますでしたが、非常に美味でした。



## 地域おこし協力隊の活動予定

表面で紹介している地域おこし協力隊の活動ですが、昨年より寺尾隊員が実施している「身体メンテナンス」と「オンライン介護予防教室」の開催情報をこちらの誌面でお伝えします。

### ■田原公民館で身体メンテナンス(3月)

日時 3月8日(水)、22日(水)  
13時30分〜15時

### ■第1部

13時30分〜「45分」  
ゆっくり動いて温める時間

### ■第2部

14時15分〜「45分」  
座って身体を温める時間

内容 タオルストレッチ・セルフマッサージ

場所 田原公民館2階集会室

### ■オンライン介護予防教室(3月)

日時 3月3日(金)、10日(金)、17日(金)、24日(金)

13時30分〜14時30分

参加のお申し込みはコチラ↓



※こちらに掲載の情報は編集の都合上、

2月20日現在のもになります。